

報道関係者 各位

平成 28 年 3 月 18 日

【照会先】

医政局医事課試験免許室

試験専門官 青木 仁 (内線 2578)

国家試験係長 高原 裕弥 (内線 2574)

(代表電話) 03(5253)1111

## 第 109 回歯科医師国家試験の合格発表について

平成 28 年 1 月 30 日(土)及び 31 日(日)に東京都他 7 カ所において実施した第 109 回歯科医師国家試験の合格者を発表しました。今回の歯科医師国家試験の合格者数等は次のとおりです。

### 記

	(出願者数)	(受験者数)	(合格者数)	(合格率)
新卒者	2,536 人	1,969 人	1,436 人	72.9%
全体	3,706 人	3,103 人	1,973 人	63.6%



## 第109回歯科医師国家試験の合格基準

第109回歯科医師国家試験の合格基準は、

一般問題（必修問題を含む）を1問1点、臨床実地問題を1問3点とし、

- ① 領域A（総論） 65点以上／109点
- ② 領域B（各論Ⅰ～Ⅲ） 128点以上／184点
- ③ 領域C（各論Ⅳ～Ⅵ） 122点以上／196点
- ④ 必修問題 56点以上／70点

但し、必修問題の一部を採点から除外された受験者にあつては、  
必修問題の得点について総点数の80%以上とする。

- ⑤ 必要最低点 0領域以下
- ⑥ 禁忌肢問題選択数 2問以下

とする。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 11 問

神経障害性の非歯原性歯痛を生じるのはどれか。1つ選べ。

- a 狭心症
- b 片頭痛
- c 舌痛症
- d 筋・筋膜痛
- e 三叉神経痛

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 14 問

仮想咬合平面の設定に用いる器材はどれか。1つ選べ。

- a occlusal appliance
- b occlusal indicator wax
- c occlusal plane analyzer
- d occlusal plane guide
- e occlusal template

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 32 問

出生後の身長成長速度が最も速い時期はどれか。1つ選べ。

- a 新生児期
- b 乳児期
- c 幼児期
- d 学童期
- e 思春期

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。

( 理由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 54 問

- 63 歳の女性。下顎前歯の歯間部歯肉の腫脹を主訴として来院した。口腔内写真（別冊No. 7）を別に示す。  
プラークを除去するブラッシング法に加えて、歯肉のマッサージを行う場合に適切なのはどれか。1つ選べ。
- a バス法
  - b ローリング法
  - c スティルマン法
  - d チャーターズ法
  - e スティルマン改良法

（ 採点上の取り扱い ）

採点対象から除外する。
-------------

（ 理 由 ）

設問文が不明瞭であるため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

A 問題 第 112 問

歯科用磁性アタッチメントの磁石として使用されるのはどれか。2つ選べ。

- a Ni-Cr
- b Co-Cr
- c Sm-Co
- d Ne-Fe-B
- e Ag-Pd-Au

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。
-------------

( 理由 )

選択肢に誤りがあり正解が得られないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 2 問

64 歳の男性。上顎全部歯列欠損による咀嚼困難を主訴として来院した。治療後の上顎義歯装着前後の口腔内写真（別冊No. 2A）とエックス線写真（別冊No. 2B）を別に示す。

固定式ブリッジではなく、この設計を選択した理由はどれか。2つ選べ。

- a 嘔気の防止
- b 清掃性の向上
- c インプラントの固定
- d リップサポートの確保
- e 上部構造の撤去しやすさ

（ 採点上の取り扱い ）

採点対象から除外する。

（ 理 由 ）

選択肢が不明確で正解が得られないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 13 問

52 歳の男性。医科からの紹介で来院した。睡眠時無呼吸症候群の治療のために装置を製作することとした。装置製作過程の写真（別冊No. 13A）と装置の写真（別冊No. 13B）を別に示す。

本装置の前後的位置関係を決定するために利用する下顎位として正しいのはどれか。2つ選べ。

- a 下顎安静位
- b 咬頭嵌合位
- c 切端咬合位
- d 下顎最後退位
- e 下顎最前方位

（ 採点上の取り扱い ）

採点対象から除外する。

（ 理 由 ）

選択肢が不明確で正解が得られないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

B 問題 第 20 問

56 歳の男性。上下顎全部床義歯の新製を希望して来院した。印象採得後の写真（別冊No. 20A）と続けて行った操作途中の写真（別冊No. 20B）を別に示す。本操作の終了後に模型を製作する目的はどれか。すべて選べ。

- a 石膏の硬化膨張抑制
- b 石膏の過剰使用防止
- c 模型基底面の厚み確保
- d 模型辺縁部の破折防止
- e 床辺縁部の機能的形態再現

（ 採点上の取り扱い ）

採点対象から除外する。

（ 理 由 ）

選択肢が不適切であるため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 26 問

印象採得前の写真（別冊No. 5）を別に示す。  
矢印で示す材料と併用するのはどれか。1つ選べ。

- a シュウ酸カリウム
- b 塩化ベンゼトニウム
- c フッ化ジアンミン銀
- d 次亜塩素酸ナトリウム
- e 硫酸アルミニウムカリウム

（ 採点上の取り扱い ）

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

（ 理 由 ）

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 30 問

直径1mm のポイントを装着したエアータービン(500,000 rpm)の周速(m/分)に最も近いのはどれか。1つ選べ。

- a 250
- b 500
- c 1,000
- d 1,500
- e 3,000

( 採点上の取り扱い )

正解した受験者については採点対象に含め、不正解の受験者については採点対象から除外する。
---

( 理 由 )

問題として適切であるが、必修問題としては妥当でないため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 69 問

永久歯先天欠如の発生頻度が高いのはどれか。2つ選べ。

- a 唇顎口蓋裂
- b Down 症候群
- c Crouzon 症候群
- d 鎖骨頭蓋骨異形成症
- e 第一第二鰓弓症候群

( 採点上の取り扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

選択肢において正解を得ることが困難なため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 75 問

MRI T1 強調像と脂肪抑制 T2 強調像（別冊No. 19）を別に示す。病理組織学的には腺様嚢胞癌であった。

腫瘍の発生組織はどれか。1つ選べ。

- a 頬腺
- b 口唇腺
- c 臼歯腺
- d 臼後腺
- e 耳下腺

（ 採点上の取り扱い ）

複数の選択肢を正解として採点する。

（ 理 由 ）

複数の正解があるため。

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

C 問題 第 130 問

上顎右側第一大臼歯欠損で、第二小臼歯と第二大臼歯を支台歯とするブリッジを製作することとした。ブリッジ設計の参考となる歯種別の指数を表に示す。

歯 種	<u>1</u>	<u>2</u>	<u>3</u>	<u>4</u>	<u>5</u>	<u>6</u>	<u>7</u>
指 数	2	1	5	4	4	6	6

ブリッジ抵抗力(r)を求めよ。

解答： ① ②

- ① ②
- 0 0
- 1 1
- 2
- 3
- 4
- 5
- 6
- 7
- 8
- 9

( 採点上の取扱い )

採点対象から除外する。

( 理 由 )

問題として不適切であるため。

---



---



---

第109回歯科医師国家試験における採点除外等の取扱いをした問題について

D 問題 第 27 問

42 歳の女性。起床時の顎のこわばりを主訴として来院した。睡眠時に歯を噛みしめていると感じているという。治療に使用した装置の写真（別冊No. 27A）と装置を装着した口腔内写真（別冊No. 27B）を別に示す。

この装置の目的はどれか。1つ選べ。

- a 下顎の整位
- b 下顎の牽引
- c 開口反射の惹起
- d 関節円板の保持
- e 歯根膜感覚入力 of 修正

（ 採点上の取り扱い ）

採点対象から除外する。

（ 理 由 ）

選択肢が不明確で正解が得られないため。

歯科医師国家試験 合格者数等の推移

回数	施行年月日	受験者数(人)	合格者数(人)	合格率(%)
第100回	平成19年2月10～11日	3,200 ( 2,580 )	2,375 ( 2,087 )	74.2 ( 80.9 )
第101回	平成20年2月9～10日	3,295 ( 2,487 )	2,269 ( 1,948 )	68.9 ( 78.3 )
第102回	平成21年2月7～8日	3,531 ( 2,516 )	2,383 ( 1,915 )	67.5 ( 76.1 )
第103回	平成22年2月6～7日	3,465 ( 2,355 )	2,408 ( 1,921 )	69.5 ( 81.6 )
第104回	平成23年2月5～6日	3,378 ( 2,356 )	2,400 ( 1,928 )	71.0 ( 81.8 )
第105回	平成24年2月4～5日	3,326 ( 2,311 )	2,364 ( 1,882 )	71.1 ( 81.4 )
第106回	平成25年2月2～3日	3,321 ( 2,373 )	2,366 ( 1,907 )	71.2 ( 80.4 )
第107回	平成26年2月1～2日	3,200 ( 2,241 )	2,025 ( 1,642 )	63.3 ( 73.3 )
第108回	平成27年1月31日～2月1日	3,138 ( 1,995 )	2,003 ( 1,457 )	63.8 ( 73.0 )
第109回	平成28年1月30日～31日	3,103 ( 1,969 )	1,973 ( 1,436 )	63.6 ( 72.9 )

※( )内は新卒者を示す

歯科医師国家試験 男女別合格者等の推移

回数	総数	男女別合格者数		男女別合格率 (%)	
		男性	女性	男性	女性
第105回 (平成24年)	受験者数 (人)	2,056	1,270	68.3	75.6
	男女比 (%)	(61.8)	(38.2)		
	合格者数 (人)	1,404	960	68.3	75.9
	男女比 (%)	(59.4)	(40.6)		
第106回 (平成25年)	受験者数 (人)	2,035	1,286	68.3	75.9
	男女比 (%)	(61.3)	(38.7)		
	合格者数 (人)	1,390	976	68.3	75.9
	男女比 (%)	(58.7)	(41.3)		
第107回 (平成26年)	受験者数 (人)	1,998	1,202	59.8	69.1
	男女比 (%)	(62.4)	(37.6)		
	合格者数 (人)	1,194	831	59.8	69.1
	男女比 (%)	(59.0)	(41.0)		
第108回 (平成27年)	受験者数 (人)	1,955	1,183	58.9	72.0
	男女比 (%)	(62.3)	(37.7)		
	合格者数 (人)	1,151	852	58.9	72.0
	男女比 (%)	(57.5)	(42.5)		
第109回 (平成28年)	受験者数 (人)	1,984	1,119	59.6	70.6
	男女比 (%)	(63.9)	(36.1)		
	合格者数 (人)	1,183	790	59.6	70.6
	男女比 (%)	(60.0)	(40.0)		

第109回歯科医師国家試験 卒業年次別受験者数・合格者数・合格率

卒業年次	受験可能回数	受験者数(人)	構成比(%)	合格者数(人)	合格率(%)
平成27年4月～平成28年3月	1回	1,969	63.5	1,436	72.9
平成26年4月～平成27年3月	2回	576	18.6	361	62.7
平成25年4月～平成26年3月	3回	216	7.0	113	52.3
平成24年4月～平成25年3月	4回	103	3.3	38	36.9
平成23年4月～平成24年3月	5回	41	1.3	9	22.0
平成22年4月～平成23年3月	6回	35	1.1	4	11.4
平成21年4月～平成22年3月	7回	23	0.7	2	8.7
平成20年4月～平成21年3月	8回	43	1.4	3	7.0
平成19年4月～平成20年3月	9回	25	0.8	3	12.0
平成19年3月以前	10回以上	72	2.3	4	5.6
計		1,134	36.5	537	47.4
総計		3,103	100.0	1,973	63.6